



作まみお

平成29年度第2回最上地域議員協議会を開催しました

11月29日(水)15時から、最上総合支庁講堂において、管内4名の県議会議員が最上地域における課題や施策の展開に関する調査・審議を行う「最上地域議員協議会」が開催されました。

審議に先立ち、石山最上総合支庁長から「最上の人材育成地域定着促進」など、八戸新庄病院長から「新庄病院改築整備関係」の主要な施策について説明した後、各議員から質疑がなされ、活発な意見交換が行われました。

【質疑の主な内容】

- ・オリンピック・パラリンピックによる地域振興策について
- ・県立新庄病院の改築を踏まえた医療・介護・福祉の連携について
- ・移住促進に向けた取組みについて
- ・冬の観光(雪まつり)に対する支援について
- ・全国学力状況調査結果について
- ・若者の地域定着の状況と地元定着策について



総務課 29-1211

第10回「地域づくりのやまがた景観賞」 山形県知事賞受賞!! 金山町「認定こども園めごたま新園舎及び里山保育について」



11月21日(火)、山形市で「地域づくりのやまがた景観賞」表彰式が行われ、金山町の「認定こども園めごたま新園舎及び里山保育について」が最高賞である山形県知事賞を受賞しました。

「認定こども園めごたま」は、地域資源である金山杉をふんだんに使った園舎で、地域の住民の方々と自然環境の恵みを体いっぱい受け、地域づくりの主体となる子どもたちを育む地域の園となっています。

地域づくりのやまがた景観賞は山形経済同友会が主催し地域活性化に取り組む人々の情熱が反映された景観などを顕彰しているもので、昭和63年から時代のテーマに沿った名称を冠して実施し通算30回目となります。

「認定こども園めごたま」の今後ますますの発展を祈念いたします。

総務課 29-1211

神室発電所完成記念式典を開催しました

金山町の市街地を流下する金山川の上流には神室ダムがあり、洪水防止のほか、上水道用水の供給、河川流水に必要な水量の放流という役割を担っています。

東日本大震災では大きな発電所が停止したため、私たちの生活に欠かせない電気が一時供給できなくなりました。これをきっかけとして、県では、太陽光や風力、水力など再生可能エネルギーの導入を進めています。



発電開始に合わせてスイッチオン



発電所内で説明を受ける吉村知事

そこで、神室ダムでも震災後から検討を重ねた結果、河川流水に必要な水量として放流している水を活用して水力発電を行うこととしました。この水力発電を行う「神室発電所」は、山形県企業局が建設し、最大出力420kW、約860世帯分の電力量を賄うもので、平成29年10月28日(土)に完成式典を開催し、売電を開始しました。

河川砂防課 29-1406

山形県・県民福祉大会が開催されました



11月13日（月）新庄市民文化会館において、第67回山形県・県民福祉大会が開催されました。

記念式典では、県内各地から約900名の参加者のもと、青山永策県民福祉大会会長、吉村美栄子名誉会長等のあいさつの後、県民福祉の向上に功績のあった個人・団体に表彰状・感謝状が授与されました。

記念式典の後は、車いす子育てを实践している又野亜希子さんより「命の輝き～車イスから見える世界って結構素敵～」という演題で講演をいただき、突然車いす生活となった経験談から、命の尊さを再認識しました。

また、会場では最上管内の障がい者施設等の物販も行われ、多くの方がお菓子屋や農作物等を買って求めています。

地域保健福祉課 29-1276

もがみを元気にする意見交換会(建設分野)

11月9日（木）に県立新庄神室産業高校において、「もがみを元気にする意見交換会（建設分野）」を開催しました。パネルディスカッションでは、建設業の若者6人から仕事の充実感・やりがい、最上を元気にする思い・夢などを紹介していただきました。

高校生との意見交換では、最上で活躍する若手建設業従事者が「災害復旧事業によって地元を支えている誇りがある」、「最上では高速道路の整備が目に見えて進んでおり、交流人口が増えていくと思う。地域発展に力を貸していきたい」と熱く伝えて、高校生が話に引き込まれていく姿が印象に残りました。

建設総務課 29-1391



最上传承野菜で料理教室

11月8日（水）に、県立新庄南高校食物部の生徒を対象に、旬の「最上かぶ」を使った料理教室を行いました。講師は新庄市のイタリア料理店「Due（デュエ）」の渡辺歩シェフ。最上かぶを調理する際のポイントを教えていただきながら、3品を作りました。



この日使った「最上かぶ」は、生産者の畑で高校生が自分達で種を播き、収穫したものです。栽培も体験したことで、より一層「最上かぶ」へ関心が深まりました。

現在、「最上传承野菜フェア」が来年1/8まで開催中です。この機会に、是非、最上传承野菜をご賞味ください！

農業振興課 29-1316



女性社員の仕事力アップ講座

11月6日（月）新庄市民プラザで、連続講座「女性社員の仕事力アップ講座」の第1回が開催されました。最上町出身で株資生堂 顧問の関根近子さんを講師にお迎えし、家庭と仕事を両立しながらキャリアアップするためのポイントや、主体的に働いていくための視点や思考について学びました。

製造業を中心に23名の女性が参加し、「仕事のモチベーションアップにつながった」「仕事だけでなく、生きていく上での視点を学べた」といった感想が多数寄せられました。講座では、和気あいあいとした雰囲気の中、グループトークも大いに盛り上がりしました。

地域産業経済課 29-1309



ありがとう陸羽東線 全線開通100周年

11月3日(金)に100周年を記念して、前後2台の旧国鉄時代のディーゼル機関車が12系客車3両をはさむ特別編成の臨時列車が秋晴れの最上路を運行しました。多くの鉄道ファンや沿線住民が100周年を大いに盛り上げ、新庄駅では、名物のくじら餅や甘酒、玉こんにやくを振る舞うなどのおもてなしを行いました。

また、全線開通100周年に先立ち、10月25日(水)には陸羽東線・陸羽西線沿線スタンプラリー抽選会を行いました。北は北海道、南は福岡県から200名を超える応募があり、厳正な抽選の結果18名の方に最上地域の特産品が贈られました。

観光振興室 29-1311



新庄まつりin巢鴨

10月28日(土)に南本町、馬喰町、常仲町の3台の山車が大正大学から巢鴨地藏通商店街を抜けて巢鴨駅の間を練り歩きました。これは、地域連携・地域創生に力を入れている大正大学の招きにより実現したものです。生憎の雨模様となりましたが、宵祭りのようにライトアップされた山車を、最上地域に縁のある方々や大正大学の学生、地元子ども達が曳き手となり盛り上げてくれました。台風の影響で翌日の山車巡行は中止となりましたが、新庄まつりの魅力を東京・巢鴨に発信することができました。必ずや来年のまつりの誘客拡大につながるものと確信しています!!

観光振興室 29-1311



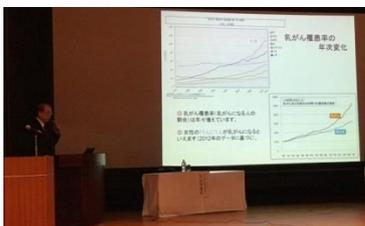
最上の地域医療を考える住民のつどい

11月15日(水)、新庄市民プラザにて「最上の地域医療を考える住民のつどい」が開催されました。

最初に、県立新庄病院副院長・乳腺外科医の石山智敏さんから、「乳がんの現状～治療や予防について～」と題した講演が行われ、「乳がんの生存率は比較的高い。早期発見・早期治療のため、検診を行うことが大切(自分の身は自分で守る)」「病気を見つけて治すだけでなく、心配ないことを患者さんに伝えるのも我々の役割」といったお話がありました。

また、後半のシンポジウムの中で、同病院がん化学療法看護認定看護師の庄司優子さん、がん相談員の渡辺千代子さんから、同病院のサポート状況の紹介等が行われました。

保健企画課 29-1256



東日本ご当地バーガーグランプリ決定戦 「新庄とりもつバーガー」が第3位に!!

10月22日(日)、福島県桑折町で第4回大会が開催されました。ご当地食材を使ったご当地バーガーの祭典です。皆さんは「新庄とりもつバーガー」をご存知でしょうか。5年前に最上総合支庁の職員 坂本健太郎さんが地域おこしのために考案しました。

大会当日は国政選挙、台風前の悪天候などにより、最悪のコンディションでしたが、「ご縁と笑顔を“とりもつ”バーガー」として、大学生や高校生ボランティアとともに会場内を大いに盛り上げました。昨年は5位、今年はなんと25団体中3位入賞! ブロンズグランプリを獲得しました。次回出店は新庄雪まつり! 東日本3位の味をぜひ味わってみてください!!

総務課連携支援室 29-1239



第80回最上夜学×第29回もがみイブニングサロン

11月17日(金)、ニューグランドホテルで、「最上夜学」が80回を迎えたことから「もがみイブニングサロン」と合同で開催しました。

今回は、山形大学国際事業化研究センターの小野寺センター長の記念講演、レコード針業界で世界トップシェアを誇る(株)ナガオカ、真室川町にあるスピーカー部品製造の最上電機(株)から事例発表をしていただきました。

小野寺センター長は、新たなイノベーションを起こすことで、地域創生につながることを熱く語られました。



交流会では(株)ナガオカの針と最上電機(株)の部品を使ったスピーカーのコラボで、音楽を聴きながら、ビジネスマッチングに花を咲かせました。

地域産業経済課 29-1309

第33回まるごとさけがわ鮭まつり

鮭川村ではその名前の由来のとおり、毎年秋になると多くの「鮭」が遡上することで知られています。10月22日(日)に鮭川村鮭の子公園を会場に、33回目となる「まるごとさけがわ鮭まつり」が開催され石山最上総合支庁長が出席しました。当日は台風の影響で雨となりましたが、恒例の鮭のつかみどりでは雨にも負けない子どもたちが元気いっぱい鮭を追いかける姿が見られました。



観光振興室 29-1312

受賞おめでとうございます！

☆大高根農場記念山形県農業賞 市川泰さん(戸沢村)

元山形もがみ農業協同組合代表理事組合長。3村4JA合併に奔走。農協トップとして、きのこ、トマトの産地確立など地域農業の振興に尽力されました。

☆最上農業賞【技術及び経営改善部門】株式会社ムラサキ農産(舟形町)

水稲に加え、夏秋期間にねぎとトマト、冬期間にマッシュルーム、さらに農産加工など農業の6次産業化にも取り組み、常時雇用を活用した周年農業を確立して、地域の中心経営体として活躍されています。

☆最上農業賞【組織活動部門】JA金山酒米研究会(金山町)

酒米部門では全国初の「JGAP」の認証、米部門では全国初の「G.G.A.P」の認証を取得した他、徹底した栽培管理により、安全・安心で高品質な酒米を生産しており、実需者から高い評価を得ています。

地域産業経済課 29-1307 農業技術普及課 29-1326



市川泰さん



株式会社
ムラサキ農産



JA金山 酒米研究会

在宅療養に関する講演会のお知らせ

在宅療養には欠かせない支援の一つに「訪問看護」があります。訪問看護は、高齢になり医療や介護が必要となっても、地域で自分らしく生活するためにご本人やご家族の強い味方になってくれる存在です。在宅療養や訪問看護について、一緒に考えてみませんか。

☆日時：H29年12月12日(火)13:30~

☆場所：最上総合支庁5階講堂

☆内容：在宅療養や訪問看護に関する講演
訪問看護利用者からのメッセージ



保健企画課 29-1258

「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン実施中!
おいしく残さず食べきろう!!

宴会5箇条

- 1 まずは、**適量注文!!**
- 2 幹事さんから「おいしく食べきろう!」の声かけ
- 3 開始直後 や 終了前 は、席を立たずにしっかり食べる**食べきりタイム**を設けましょう
- 4 食べきれない料理は**途中で分け合おう**
- 5 それでも、食べきれなかった料理は、お店の方に確認して**持ち帰り**しましょう

環境課 29-1284

発行日：平成29年12月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。



もがみるくん